

平成 30 年度

事業報告書

(平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日)

社会福祉法人 勇翔福社会

輝宝保育園

1

平成30年度事業報告書

社会福祉法人勇翔福祉会
輝宝保育園

輝宝保育園は、子どもの心身の健全な育ちの保障と保護者が安心して託せる保育園づくり、保護者・地域・園の連携をより強化する為に、平成30年度も職員一丸となって取り組んだ。

保育にあたっては、保育所保育指針に基づき、全体的な計画（保育課程）を作成し、各年齢の年間計画、月週案、食育計画をたて、実践、評価反省を踏まえ保育を行った。保育士の専門性を高めるために、園内研修では、主任を中心に毎週木曜日に午睡時間を利用し、全クラスのエピソード記述を用いたカンファレンスを中心に学び合った。又、外部講師を招いてチームビルディング研修の一環として「MBTI」研修を行った。

外部研修では、うるま市保育課、社会福祉協議会、日本保育協会主催の研修を中心に多くの職員が交代で受講できるようにし、それぞれの職務の専門性を高め資質の向上を図った。又、キャリアアップ研修もリーダー保育士を中心に計画的に受講することができた。

保護者、地域への情報発信としては、ホームページを活用し、毎週子ども達の育ちや活動の様子を発信することができ、保護者や見学者からも好評であった。

環境整備としては、熱中症対策の為に屋上園庭①の日よけテントの設置、玄関前のオーニング（雨よけ、日よけ）の設置等を行った。引き続き、環境改善が必要な整備項目を進めていくと共に、安全対策（防犯）の見直しと強化、保育環境充実の為に園庭整備計画を図っていく。

社会福祉事業

第2種社会福祉事業 輝宝保育園の運営

一般保育事業

平日 7:00 ~ 18:00

特別保育事業

延長保育事業 18:00 ~ 19:00

障がい児保育

公益事業 なし

収益事業 なし

	定員	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0歳	12	12	13	15	15	15	17	17	17	17	17	17	17	189
1歳	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	288
2歳	24	24	24	24	24	23	24	24	24	24	24	24	24	287
3歳	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	360
4歳	30	31	31	31	31	31	31	31	31	31	31	31	31	372
5歳	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	216
														1712
合計	138	139	140	142	142	141	144	144	144	144	144	144	144	1712
延長保育		187	179	164	159	192	142	202	228	213	203	195	202	2216

1、施設事業運営

①園児受け入れ数・延長保育利用人数・職員数

園長 1人 副園長 1人(兼事務) 主任保育士 1人 保育士 21人(看護師含む)

短時間保育士 4人 厨房 5人(兼用務 2人) 事務兼保育補助 2人

子育て支援員 1人

②園児の健康管理

知念小児科医院の知念正雄医による内科健診とつばさ歯科クリニックの大嶺裕歯科医による歯科検診を全園児 2 回行った。健診後は保護者へ結果報告すると共に虫歯治療の推進を行なった。4, 5 歳児は、6 月よりフッ化物洗口を食後に取り入れた。また、全園児、年 2 回蟻虫検査、尿検査

も行った。

0、1歳児は感染症にかかりやすい為、健康チェックを特にこまめに行い、受け入れ時は保護者に検温の協力をお願いし、又、園でも午睡前には検温を行い異常の有無の早期発見に努めるようにした。他の年齢においても、全職員、受け入れ時や保育中の視診、触診を怠らないようにした。

③栄養面の管理

在宅の栄養士が作成した献立表を基に調理した食事を提供した。乳児は離乳食から幼児食への移行も保護者と厨房の連携の下、全員がスムーズに行えた。2、3、4、5歳児は、昼食を隔月に1回バイキングスタイルで行い好評であった。

④保育内容

保育指針を踏まえて全体的な計画（保育課程）を作成し各年齢年間計画、月週案、食育計画をたて保育した。保育にあたっては一人ひとりの子どもを、誉める、認める、励ますことを大事にし、自己肯定感を育みながら遊びを展開できるように保育した。絵本の読み聞かせも朝、午睡前、夕方行い、また4、5歳児は、月2回中央図書館を利用して絵本を借り、家庭に持ち帰り読み聞かせを楽しめるようにした。全体リズム運動は月に1回異年齢クラス合同で取り入れ、乳児クラスも幼児クラスを手本とし相互に良い関係で取り組めた。外部指導員による第2、第4水曜の運動遊びや、第2、第4木曜のエイサー指導も、子ども達は意欲的に取り組み楽しんでいた。また、5歳児は就学へ向け文字に慣れ親しむ、正しい姿勢（立腰）で机へ向かう習慣を培う目的で硬筆・毛筆にも楽しんで取り組んだ。食育も各クラス目標にそって取り組み、恒例となっているゴーヤーやじゃがいもの収穫でのクッキングや、遠出した読谷での芋掘りも好評だった。園バスを利用し、園外活動も多くとりいれ大きな怪我もなく安全に過ごすことができた。

配慮を要する子（障がい児含む）への支援は、引き続き巡回相談を通し家庭と連携を行い、必要に応じて、保護者面談、関係機関や専門機関を交えた4者面談、5者面談を実施し密に対応した。就園・就学の園児に対しても気になる子に関しては、受け入れ側に申し送りをし、密に繋いだ。

⑤安全管理

月1回避難訓練及び消火訓練を実施し万々に備えるようにした。
年2回消防設備の点検を二和防災に委託して行った。防犯では、機械警備を琉球警備保障に委託した。
園舎内外の安全管理の点検を実施し未然防止に努めた。

⑥環境整備

毎朝の園庭の清掃、保育室の清掃や換気、整理整頓、園庭や出入口には季節の花を常時植えるようにした。

⑦衛生管理

食前食後の手洗い、戸外遊び後の手洗い、食後の歯磨きの励行。
汚物処理は使い捨てビニール手袋やマスクを使用し衛生面に気を配った。
下痢便、嘔吐物があるときは、ハイターを使用した。
食事時のテーブル拭きや手の消毒は衛生水（酸化電位水）で行った。

⑧地域との交流

職場体験受け入れ（具志川中学校、具志川東中学校）、
ボランティア受け入れ（卒園児：具志川中学校）
保育実習生受け入れ（エルケア医療保育専門学校、沖縄中央学園、沖縄女子短期大学）、インターンシップ受け入れ（中央学園）

⑨職員の健康管理及び福利厚生

全職員年1回の健康診断及び人間ドッグ及びインフルエンザ予防接種。
調理師は毎月検便を実施。
（公財）沖縄中部勤労者福祉サービスセンター「ゆいワーク」の助成金を活用。（定期健診補助・お祝い金・映画チケット割安購入等）

⑩研修、講習

うるま市保育課主催の研修、社会福祉協議会、日本保育協会主催の研修に全職員が交代で受講できるようにし、それぞれの任務の専門性を高め資質の向上を図るようにした。研修後は職務会議の中や保育終了後に報告会を行うようにしたが、時間がとりづらく不十分さもあつたので今後の課題としたい。園内研修は、「エピソード記述によるカンファレンス」を毎週木曜日に取り組んだ。

⑪職員会義

クラス会議や代表会議は、基本的に毎週火曜日に、子どもたちの午睡時間を利用して行なった。職員は交互に参加し、子どもたちへの安全にも気を配った。

⑫保護者との連携

行事（個人面談、夕涼み会、運動会、お遊戯会）や園だより、クラスだより、給食だより、連絡帳、送迎時を利用して保護者とのコミュニケーションを図ると共に保護者同士の交流が持てるようにした。

必要に応じて保護者面談、4者面談、5者面談、保護者間面談を行った。ホームページや掲示板にて、子ども達の活動を多く発信した。

2、施設事業管理

①事務関係

会計業務は「EY 税理士法人」、労務管理に関することは、「社会保険労務士法人なか」に委託した。

②保守関係

会計ソフト及びコンピューター関連の保守は「沖縄コンピューター」に、防火設備の保守は「ニ和防災」に、グリストラップ清掃は「沖縄クリーン工業」に、厨房内の空調清掃は「クロス・ケイ」に依頼した。防犯関係は琉球警備保障に委託した。

③修繕及び整備関係

- ・シーサー台及びシーサー設置（具志川中学校側の駐車場）
- ・玄関自動扉のダイノックシート張り（保護シート）
- ・玄関前の自動開閉オーニング（雨よけ）
- ・排煙窓の格子設置（安全対策）
- ・園庭整備（フェンス修繕、土間補修、園庭の水はけ及び土壌改良）
- ・屋上園庭①の日よけテント設置（開閉式及び乗降式シェード）

④器具及び備品購入関係

- ・ヨド物置

※別紙参照（固定資産管理台帳）